

景観審議会及び景観審議会部会での委員意見に対する景観計画への反映状況

委員意見	区の方考え方
対象区域を 20mで設定しているが、中には直接面していない建物などもあるため、20mの根拠を明確にした方が良い。	【1ページ】 ・板橋区で既に重点地区を指定しております石神井川軸地区では、緑道とか公園から20メートルの範囲ということで、20メートルという距離感というのを基調としている。そのため、不動通り地区についても、まとめとして見る場合に、旧中山道からの影響範囲ということをおおむね見える範囲で敷地と2つ目の敷地程度ということで20メートルということで想定している。
スケール感で大事なことのひとつは間口だと思う。高さや壁面だけでは無く、商店街の伝統的な土地割、狭い間口で小さなお店が連続しているところが景観のポイントであると思うので、間口についても言及した方が良い。	【5ページ】 「低層部では間口などのスケール感を意識し、宿場町らしさが感じられるようなデザインの街並みの連続性に配慮する。」と変更した。
歩行者にも通りを歩いている人や脇道から入ってくる人で色々な視点での見え方があるが、その時に大事なのは角地であると思う。角地や街角にも配慮を求める文言があると、後々良いと思う。	【7ページ】 「外構計画は、～、隣接する敷地・道路・角地などのアイストップを意識し～」と変更した。 
敷地や道路もアイストップということか。	【7ページ】 アイストップという文言を削除し、「隣接する敷地・道路、街角・角地などの視線が集まりやすい場所を意識し～」と変更した。

委員意見	区の考え方
和風という言葉は色々な幅があるので、良い物がある一方、やらない方が良かったという物もある。もっと具体的な言葉で表現した方が良いのではないか。	【7ページ】 「入り口部分や塀などの外構を和風とするなど～」を「入り口部分や塀などの外構を伝統的な素材やデザインとするなど～」と変更し、他の基準と整合を図る。
「植え込み」、「植栽」、「和風」という言葉の整理が必要。	【7ページ】 「植え込み」という文言を削除する。
緑の部分に「もてなし」、「しつらえ」、「たたずまい」など質の高い空間を目指す言葉が入ってくると、宿場町らしさが出てくる。「うるおい」だけでは弱い。	【7ページ】 「敷地内はできる限り緑化を図るとともに、通りに面する部分や角地、玄関周りなどには、宿場町らしい設えや佇まいの植栽帯を設けるなどで緑化を図り、～」と変更する。
「デザインの統一」というのが何を統一するものなのか中身が分からない。不動通りの伝統的なデザインというものが、一言でいわれてしまうのはいかなものか。	【7ページ】 ・2 項目に整理する。 ・1 つ目は、「周辺の看板などの高さや位置を揃えるなど、まとまりのある街並みの形成に努める」とし、取り付ける位置などに関する基準とする。 ・2 つ目は、「外壁の色彩との調和や宿場町らしさに配慮し、落ち着いた印象を与えるデザインに統一するように努める」とし、デザインに関する基準とする。